

ゆき市 議会だより

Yukicity council information

第222号

令和5年5月1日

第1回定例会

令和5年度当初予算を可決



改選前の2月28日に撮影したものです。



令和4年度一般会計補正予算 総額2億7,640万円を可決

第1回定例会 ▶ 会期21日間 2月28日～3月20日

市長提出案件 37件
議員提出案件 2件

●議案第1号 令和4年度結城市一般会計補正予算(第8号)

PICKUP

ARを活用し、観光誘客を図ります。

国庫補助金を活用し、保育所等における感染対策を継続するために必要となる衛生用品等の購入を支援する「民間保育所補助事業費」や、観光誘客を図るため、ARを活用した事業等を開催する「観光情報発信事業費」の追加等により、歳入歳出それぞれ2億7,640万円を増額するものです。

こんな質疑がありました

Q 観光情報発信事業費が計上されていますが、内容について伺います。

A 結城蔵美館特別企画として、結城秀康公の特別展を、ゴールデンウィークに合わせて開催したいと考えており、多くの観光誘客を図るために、広報・周知をするものです。



●議案第22号

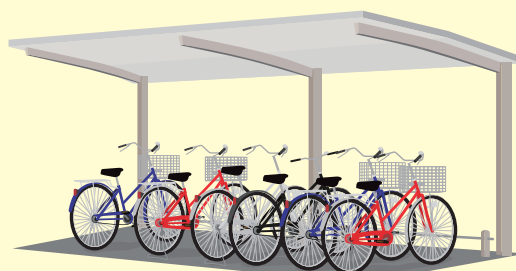
結城市自転車駐車場の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例について

PICKUP

駅の駐輪場が無料で使えます。

子育て世代への経済的支援を目的に、結城駅北口自転車駐車場及び結城駅南口自転車駐車場の使用料を無料とするための改正を行いました。

令和5年4月1日から、使用料が無料となっています。



人事案件

以下の方の諮問について同意

諮問第1号	人権擁護委員	赤木 信之 さん
諮問第2号	人権擁護委員	青木 静江 さん
諮問第3号	人権擁護委員	富田 好行 さん

以下の方の選任について同意

選任第1号	監査委員	國府田 均 さん
-------	------	----------

第1回定例会 議決結果



議 案	議決結果	石川 周 三	滝沢 利 明	上 野 豊	大里 克 友	土 田 構 治	會 澤 久 男	大 橋 康 則	佐 藤 仁	平 陽 子	安 藤 泰 正	立 川 博 敏	黒 川 充 夫	早 瀬 悦 弘	稲 葉 里 子	大 木 作 次	船 橋 清	孝 井 恒 一
報告第1号	専決承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第1号～9号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第10号(修正案)	修正案否決	○	●	●	(※)	○	●	●	●	○	○	●	●	-	●	○	○	●
議案第10号(原案)	原案可決	●	○	○	(※)	●	○	○	○	●	●	○	○	-	○	●	○	○
議案第11号	原案可決	○	○	○	(※)	○	○	○	○	●	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第12号～20号	原案可決	○	○	○	(※)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第21号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第22号～25号	原案可決	○	○	○	(※)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第26号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第27号～30号	原案可決	○	○	○	(※)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
諮問第1号～3号	諮問可決	○	○	○	(※)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第31号～33号	原案可決	○	○	○	(※)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
選任第1号	選任可決	○	○	○	(※)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○

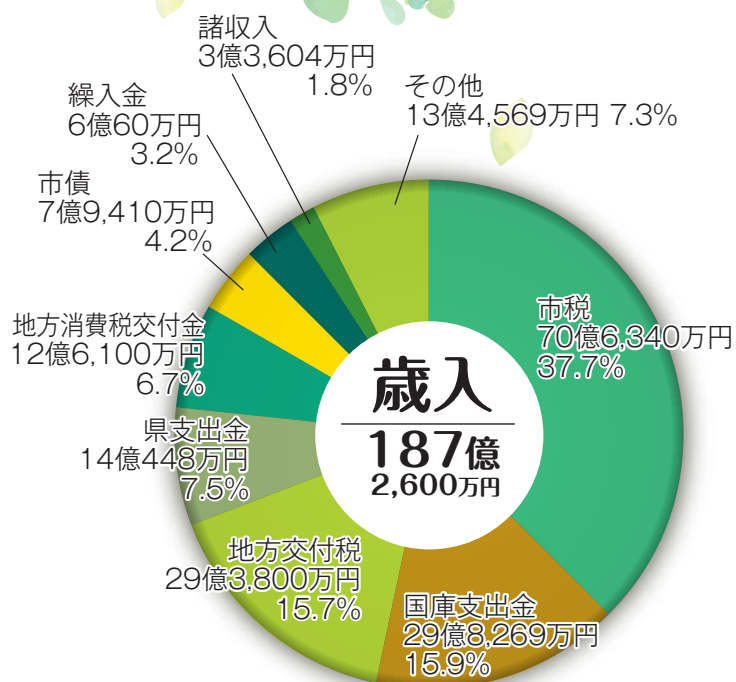
※○は賛成 ●は反対 議長 早瀬悦弘は採決に加わらない。(※)新型コロナウイルスの濃厚接触者となったため欠席

件 名	内 容
報告第1号	地方自治法第179条第1項の規定に基づく専決処分について
議案第1号	令和4年度結城市一般会計補正予算(第8号)
議案第2号	令和4年度結城市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
議案第3号	令和4年度結城市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
議案第4号	令和4年度結城市介護保険特別会計補正予算(第2号)
議案第5号	令和4年度下館・結城都市計画事業結城南部第二土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)
議案第6号	令和4年度下館・結城都市計画事業結城南部第三土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)
議案第7号	令和4年度結城市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)
議案第8号	令和4年度結城市水道事業会計補正予算(第3号)
議案第9号	令和4年度結城市公共下水道事業会計補正予算(第3号)
議案第10号(修正案)	令和5年度一般会計予算(修正案)
議案第10号(原案)	令和5年度一般会計予算(原案)
議案第11号	令和5年度結城市国民健康保険特別会計予算

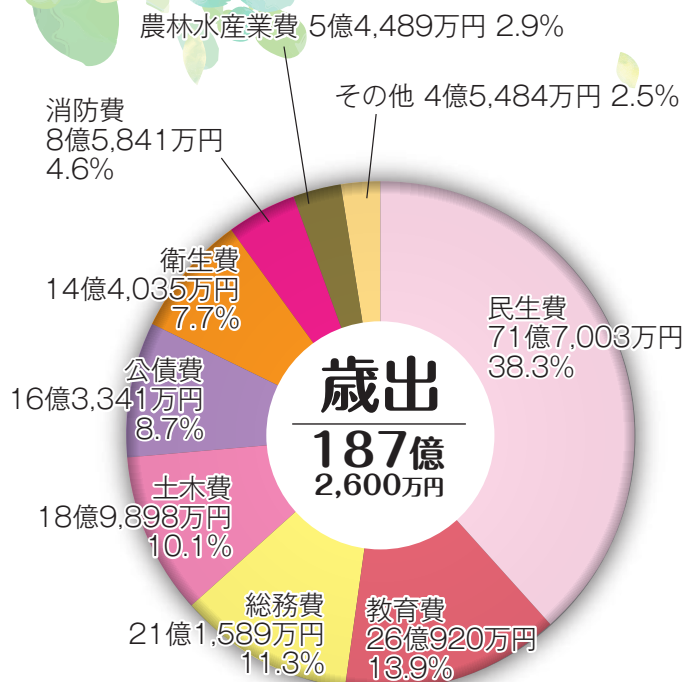
	件 名	内 容
議案第12号	令和5年度結城市後期高齢者医療特別会計予算	令和5年度当初予算を7億2,820万円と定めるもの(前年度比6.8%の増)
議案第13号	令和5年度結城市介護保険特別会計予算	令和5年度当初予算を38億3,310万円と定めるもの(前年度比2.8%の増)
議案第14号	令和5年度下館・結城都市計画事業結城南部第二土地区画整理事業特別会計予算	令和5年度当初予算を7,410万円と定めるもの(前年度比29.6%の減)
議案第15号	令和5年度下館・結城都市計画事業結城南部第三土地区画整理事業特別会計予算	令和5年度当初予算を4,460万円と定めるもの(前年度比34.9%の減)
議案第16号	令和5年度結城市農業集落排水事業特別会計予算	令和5年度当初予算を1億2,660万円と定めるもの(前年度比0.5%の減)
議案第17号	令和5年度結城市水道事業会計予算	令和5年度当初予算を21億3,474万1千円と定めるもの(前年度比3.5%の増)
議案第18号	令和5年度結城市公共下水道事業会計予算	令和5年度当初予算を28億2,348万4千円と定めるもの(前年度比17.8%の増)
議案第19号	結城市個人情報保護法施行条例について	開示請求があったときの開示決定等の期限等、開示請求に係る手数料について規定するとともに、「結城市個人情報保護条例」を廃止するもの
議案第20号	個人情報保護制度の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例について	主に、行政文書開示請求の開示決定等の期限等について規定するとともに、個人情報の規定の根拠を「個人情報の保護に関する法律」に改めるもの
議案第21号	結城市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	令和4年8月8日に出された人事院勧告等に伴い、関係する条例の一部を改正するもの
議案第22号	結城市自転車駐車場の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例について	2ページに記載
議案第23号	結城市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」が改正されたことに伴い、当該条例の一部を改正するもの
議案第24号	結城市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	「家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準」が改正されたことに伴い、当該条例の一部を改正するもの
議案第25号	結城市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	「特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準」が改正されたことに伴い、当該条例の一部を改正するもの
議案第26号	結城市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	保護者や地域住民が一定の権限と責任をもって学校運営に参画する「学校運営協議会制度」を導入するにあたり、協議会の委員の報酬を定めるため、当該条例の一部を改正するもの
議案第27号	結城市スポーツ施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	施設の利用状況、管理経費等を鑑み、「田間グラウンド」を廃止するため、当該条例の一部を改正するもの
議案第28号	損害賠償の額を定めることについて	公用車による人身事故の損害賠償の額を定めることについて、地方自治法第96条第1項第13号の規定により、議会の議決をお願いするもの
議案第29号	市道路線の変更について	市道1301号線は、その一部が寺院の参道となっており、一般交通の用に供する必要がないため、参道部分を廃道とする変更を行うもの
議案第30号	市道路線の廃止について	市道5232号線は、隣接する土地と一体的に利用され、道路機能を失っているため、認定を廃止するもの
諮問 第1～3号	人権擁護委員候補者の推薦について	2ページに記載
議案第31号	結城市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	「健康保険法施行令」が改正されたことに伴い、出産育児一時金の支給額を引き上げるため、当該条例の一部を改正するもの
議案第32号	結城市介護保険条例の一部を改正する条例について	新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等について、令和4年度以前の年度分の介護保険料であって、令和5年4月1日以降に納期限が到来するものを減免の対象とするため、当該条例の一部を改正するもの
議案第33号	結城市議会の個人情報の保護に関する条例について	個人情報保護法の改正により、議会における個人情報の取扱いは、法形式や規律の内容も含め、その自律的な対応に委ねることとされたため、議会として個人情報の適切な対応を図ることを目的とし、制定するもの
選任第1号	結城市監査委員の選任について	2ページに記載

令和5年度 一般会計 予算の概要

～ 一般会計総額187億2,600万円 前年度比2.8%増 ～



- 市税…市民税、固定資産税、軽自動車税など
- 国庫支出金…決められた事業に使う国からのお金
- 地方交付税…自治体の税収の差を調整するため国から配分されるお金
- 県支出金…決められた事業に使う県からのお金
- 地方消費税交付金…県の消費税収入から市に配分されるお金
- 市債…国や銀行などから借りるお金



- 民生費…子どもや高齢者、障害者の福祉など
- 教育費…学校教育や生涯学習、スポーツ振興など
- 総務費…庁舎等の維持管理、税金の徴収など
- 土木費…道路や河川、公園の維持管理など
- 公債費…市債の返済金
- 衛生費…健康増進や疾病予防、環境保全など
- 消防費…防災対策や消防団運営など
- 農林水産業費…農業の振興や農地保全など

議会注目事業

都市公園整備事業



「結城駅周辺地区都市構造再編集中支援事業」により、市民の憩いや交流の場となる安全・安心・魅力的な空間を提供するため、都市公園の整備を行う。

市民文化センター改修事業



市民文化センターの避難所としての安全性確保と防災機能強化を図るため、施設の改修を行う。
(令和5、6年度継続事業)

第1回定例会では、予算特別委員会が設置され委員長に大橋康則議員、副委員長に土田構治議員が就任し、予算の審査を行いました。その中で、注目の集まった事業を紹介します。

5類移行に伴う取組の変化は

基本的な感染予防対策を引き続き実施する必要がある

自治体DXについて

問 結城市のポータルアプリケーションを構築してプッシュ型による情報配信や各種手続誘導を実現してみてもどうか。

総務部長 様々な情報を連携して一人一人が必要とする情報をプッシュ型で提供するためには、マイナンバーによる情報連携が必要となるが、現時点でマイナンバーの利用は、社会保障、税、災害対策の分野に限られており、さらに、個人情報

適切な保護や安全な情報連携の仕組みづくりといった点に課題がある。

こうした課題について、国において検討を進めているので、その検討状況を把握するとともに、各社で開発を進めているポータルアプリの比較検討を進め、ポータルアプリ構築の課題を整理したいと考えている。



新型コロナウイルス感染症について

問 5類移行に伴う市の考え方や取組の変化についてや、今後のワクチン接種の取りまとめについてはどのようになっているのか。

保健福祉部長 現在、2類相当とされている新型コロナウイルス感染症が5類となった場合、地方自治体では、感染者への就業制限や入院勧告、外出自粛要請などの措置はできなくなり、医療費

は自己負担で検査や治療を受けることになる。

しかしながら、新型コロナウイルスは、科学的知見が蓄積されているものの、まだ不明な点も多く、ウイルスが変異を繰り返すことから完全な収束が見えない状況にある。5類に移行しても、感染力や病原性が変わるわけではないので、基本的な感染予防対策は引き続き実施する必要があると考えている。

また、今後のワクチン接種については、厚生科学審議会予防接種・ワク

チン分科会の見解が示されたが、対象者、ワクチンの種類及び接種回数などについて不明な点が多いため、今後も国・県の動向を注視しながら、迅速に対応したいと考えている。

ごみ集積場について

問 ごみ集積場への不法置き去り等への抑止力としてごみ集積場に防犯カメラを設置してはどうか。

市長 結城市環境衛生協議会が実施している補助



制度において、防犯カメラの設置も補助の対象と伺っている。

ごみ集積所については、設置場所や管理、不適正排出への対応など、課題も多いものと認識しており、自治会や環境衛生推進員を通じて、補助制度について改めて周知したいと考えている。

たちかわ ひろとし
立川博敏 議員

今後もしっかりとした感染予防対策を！

工業団地整備により地域経済の発展を 早期の工事着工に向け事業を推進する



たきざわ としあき
滝沢利明 議員

交流人口の増加と税収アップ

公共交通について

問 巡回バスの利用者数の推移について。

企画財務部長 令和5年1月末現在の利用者数は、前年同時期の17,512人を2,601人上回る20,113人となっております。感染症の影響は残るものの、少しずつ回復の兆しが見えてきている状況です。

問 巡回バス停留所の設置数、設置場所及び高齢者への対応について。

企画財務部長 停留所の設置数は123か所となっており、結城駅をはじめ、公共施設、商業施設、医療機関及び地域の主要施設や主要場所等を中心に設置しております。また、停留所までの移動が困難な高齢者の対応については、現在、65歳以上の高齢者が、自宅から指定目的の地まで定額で利用できる「高齢者タクシー」の実証実験に取り組んでいるところであり、バス停留所までの移動が困難な高齢者の交通手段を確保しているものと捉えております。

工業団地について

問 工業団地の現状について、選定理由や面積、整備手法、関係法令の手續について伺います。

経済環境部長 新たな工業団地の整備に当たり、繁昌塚南地区を選定した理由については、工業用地の調査・検討を行い、市街化調整区域の3か所を候補地として選定し、その後、候補地ごとに、開発条件や土地利用

計画の実現性、概算事業費、事業期間、企業誘致など多角的な視点から検討し、総合的に判断した結果、繁昌塚南地区に決定しました。

計画面積は約22.7haで、現在の土地利用状況は、田が約8.1ha、畑が約10.8haで、その他、山林が約1ha、住宅地が約0.2ha、道路用地他で約2.6haです。

整備手法については、地権者や企業の多様な要望に柔軟に対応できることや、市の財政負担を抑

えつつ整備を進めることができるといった理由から、組合施行による土地区画整理事業を選択し、推進しています。

関係法令の手續の現状については、事業化に向けて地区内の農地を農業振興地域から除外するための手續として、令和4年6月から茨城県農業政策課及び都市計画課と協議を重ね、11月からは関東農政局との協議を進めています。

問 工業団地整備について、市長の所見を伺います。

市長 工業団地整備については、地域経済の振興はもとより、雇用の創出による移住・定住の促進と、安定的な税収の確保による市財政の強化を図るために、効果的かつ重要な施策と考えております。今後は、関係法令の手續に伴う国・茨城県との協議を進めるとともに、地元との合意形成を図り、早期の工事着工に向け、事業を推進してまいります。



結城南中学校区新設校は 義務教育学校に

魅力ある学校づくりをしつかりと やっていく

下水汚泥の有効活用 について

問 現在、地球温暖化が進み、世界中で異常気象のため、干ばつによる山火事、豪雨による大洪水、竜巻等の災害が発生しています。

地球温暖化を阻止するには、炭酸ガスの発生を減らす努力が必要です。

結城市も将来を見据えて、下水汚泥の有効活用におけるバイオマスガス発電と下水汚泥からの肥料の生産事業を行ってください。

都市建設部長 メタン発

酵ガス事業を行うには、消化タンク等の建設が必要で、建設費用が多額となり、売電量も少量となることから、大変厳しいものとなります。

自然発酵型コンポスト 事業は、機械式に比べ、電気代等の削減が図れるなどのメリットがありま

問 下水汚泥バイオマスガス発電を結城市も積極

的に取り組みましょう。

市長 メタン発酵ガス発

電については、本市の状況をともに様々な手法を検討するも、多額の費用が伴うことから、ガス発電施設の建設は大変厳しいものと考えております。

下水汚泥の堆肥化 については、地元農家の肥料不足などの解消に少しでも寄与できるよう、環境面に配慮した持続可能な汚泥処理を展開できるよう、計画してまいります。



結城南中学校区新設校について

問 何のために義務教育

学校制度ができたのか。これまでの小学校と中学校の制度で問題が解決できないために義務教育学校が制度化されたのです。

義務教育学校 では9年間の義務教育として行われる普通教育は、各個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自律的に生きる基礎を培い、また、国家及び社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養うことを目的

教育部長 小中一貫型小学校・中学校においては小学校卒業や中学校入学という義務教育課程における節目となる行事を大切にしつつ、9年間の系統性のある児童生徒に一

として行います。

生徒の発達に合わせた教育、中一ギャップの対応や社会性教育の場として求められていますので、

是非とも、新設校は義務教育学校にして、子供たちが伸び伸びと勉強や体力づくりができる夢のある学校にしてください。

層寄り添った指導により、小学校から中学校への円滑な接続が図れるものと考えております。

問 義務教育学校制度を結城南中学校区の新設校に導入していただきたい。

市長 本市が目指す小中

一貫教育を「結城モデル」として確立し、児童生徒や保護者、地域の方々の期待に応えることができる特色のある魅力的な小中一貫型小学校・中学校をつくってまいります。

あんどう やすまさ
安藤泰正 議員

教育は最も大切で、
未来の玉手箱です。

新設校の目指す在り方は 生きる上での基礎・基本を大事にする



おおき さくし
大木作次 議員

元市役所本庁舎跡地 利用計画について

問 市民アンケート調査の結果や市議会からの提言などを踏まえ、市長公約との整合性を考慮した中で、今後の進め方について伺います。

市長 基本構想策定後の次の段階として、基本構想で示された目的や役割の具現化に向け、立地や法令などの条件を整理し、施設の具体的な機能、仕様、規模及び配置などを定めた基本計画の策定に

取り組むこととなります。

令和5年度以降には、

多額の財政支出を伴う事業が計画されていることから、それらの事業の進捗状況や財政状況、都市計画道路3・4・18号線の開通時期等を総合的に勘案した上で、基本計画の策定に着手し、設計、整備工事へと着実につなげてまいります。

都市計画道路3・4・18号線の整備について

問 県と市の負担比率に

ついて伺います。

都市建設部長 全体概算

額が約73億円で、県施工分が約49億円、市施工分が約24億円であり、県と市の負担比率は約7対3となっております。

問 今後のスケジュールについて伺います。

都市建設部長 令和4年

度は、路線測量、道路詳細設計、電線共同溝設計。5年度に用地測量、6年度に物件補償算定、不動産鑑定を実施し、その

後、用地買収を行い、工事着手する予定です。

結城南中学校区新設校について

問 開校に至るまでの具体的な日程を伺います。

教育部長 令和5・6年

度で基本設計、実施設計、7・8年度の建設工事を経て、9年4月の開校を目指しております。

問 各学校跡地の活用について伺います。

教育部長 1つ目は、郷土

愛を育てる教育です。地域への愛着と誇りを持ち、感謝することのできる人間を育てます。

問 新設される小中一貫校について、どのような学校の在り方を目指し、進めていくのか伺います。

教育部長 1つ目は、郷土

愛を育てる教育です。地域への愛着と誇りを持ち、感謝することのできる人間を育てます。

です。特に国際化が進展している現在において、英語力を身につけることが大切だと考えております。国際的に活躍できる人材を育成することのできる教育を目指します。

3つ目は、教育全体として、入学式や卒業式、運動会などの学校行事や地域資源を生かした校外活動に地域の方が積極的に参画できる、地域に愛される楽しい学校を目指します。



公民館の分館の整備を早急に

各地区への公民館の分館整備を進める



いなば さとこ
稲葉里子 議員

ヤングケアラー実態調査の
早期実施を

高齢者への移動支援 について

問 巡回バスのダイヤ改正について。

問 今後の取組について。

企画財務部長 今回の改正は、巡回バス利用者の利便性向上を図るため、主に通院と買物に配慮した改正となっています。

保健福祉部長

今回延長した6か月の実証実験では、飲食店や福祉施設までの運行を可能とする指定制的地を拡大しており、予約受付期間の拡大についても予定しているところとあります。

市長 健康で長生きできる社会を目指す上で、高齢者の方が生きがいを持って生活することは非常に大切だと思います。そのため、高齢者の移動支

問 高齢者タクシーの本格運用について。

問 実態調査について。

教育部長 現在、市独自の調査は実施しておりません。県の実態調査の結果から、本市においてもヤングケアラーに該当する児童生徒がいると考え

ヤングケアラーについて

援は重要になってくると考えております。

問 学校の対応について。

教育部長 学校の教員は、児童生徒の変化に気づきやすい立場にあります。ヤングケアラーに該当する、あるいは疑いのある児童生徒を発見した場合、速やかに関係機関と連携し、適切な支援に結び付けてまいります。

問 ヤングケアラー支援について。

市長 ヤングケアラーの社会的認知度の向上に努め、子供自身や周囲の大人が気づき、関係機関が連携を図り、支援しているよう、支援の基盤づくりに努めてまいります。

今後、高齢者の視点に立つての運用になるよう努めてまいります。



公民館の利用について



問 公民館の分館整備について。

今後、公共施設全体の配置や出張所などの行政機能のバランスを考慮しながら、各地区への市立公民館の分館整備について、しっかりと検討を進めてまいります。

後日、結城市公民館運営審議会において、予約待ち時間の軽減を図るため、くじ引きによる予約方法に変更することとした。

社会資本蓄積は災害に強い街になる 災害に強いインフラ整備を進める



つちだ こうじ
土田構治 議員

災害大国日本です。
防災対策をしましょう！

結城市国土強靱化地域計画について

問 災害時の道路閉塞を防ぐ無電柱化等の推進について。

都市建設部長 国及び県の無電柱化推進計画に基づき、本年度、茨城県が電線共同溝詳細設計業務を委託発注し、無電柱化道路の整備を進めているところでございます。

問 土木業者の育成、災害時の対応の考え方について。

都市建設部長 土木業者はインフラ整備やメンテナンス等の担い手であると同時に、地域社会の安全・安心の確保を担う担い手でもございます。

台風や大雪などの災害発生のおそれがある場合、結城市建設業協会へ対応協力依頼をし、対応いただいているところでございます。



問 災害状況把握のためのドローン活用について、どのような対応をしておりますか。

市民生活部長 災害時の応急対策業務の実施に関する協定を結城市測量設計業協会と締結しております。

被災状況の把握にドローンを活用した情報の収集の協力体制を図っております。

問 既協定締結団体との連携維持及び災害時応援協定の新規締結推進について。

市民生活部長 現在、合計で71の協定を締結しております。
大規模災害の発生時に

は、自治体の機能が一時的に低下するおそれがあることから、民間事業者や各種団体の協力を得て、被災者の支援並びに早期復旧に向けた災害応援協定を今後も積極的に進めてまいります。

問 社会経済が迅速かつ従前より強靱な姿で復興できる条件の整備について（結城市災害廃棄物処理計画における、仮置場の選定基準について）。

市民生活部長 仮置場の選定基準といたしまして

は、できる限り広い面積であること、公園、グラウンド、廃棄物処理施設等の公有地、または未利用工場跡地等で長期間利用が見込まれない民有地などとなります。

問 リスクマネジメント（管理による回避、低減）とクライシスマネジメント（重大な危機に直面した際、迅速かつ適切に一次対策を施して、できるだけ早く平常状態へ復旧させる）そのための投資の促進について、どのようにお考えか伺います。

市長 結城市国土強靱化地域計画において、本市の地域特性を考慮した災害リスクを抽出し、脆弱性の分析、評価、課題の検討を行い、災害に対する強靱化を図り、災害に強い社会資本整備を進めているところでです。

また、災害により本市が重大な危機に直面した際には、市民の生命と財産を守るため早期の復旧と復興を目指し、迅速な対応を図ってまいります。



実効性のある避難計画策定を

水戸市の準備整い次第、協議を再開

公共施設等総合管理計画について

問 公共施設等総合管理計画における学校施設の考え方について。

総務部長 不具合があった場合、保全を行う事後保全型の管理から、計画的に施設の点検、修繕を行い、不具合を未然に防ぐ予防保全型へ転換し、施設の長寿命化や整備コストの抑制に努めることを学校施設整備の基本的な方針としております。

問 結城南中学校区の小学校の児童数の推移について。

教育部長 令和4年5月1日現在の児童数は650人で、新設校開校予定の9年度には472人となり、4年度と比較して178人の減少、減少率は約27%になると予測しております。

問 結城南中学校区新設校の課題と取組について。

教育部長 スクールバスについては、令和5年度

に設置する専門部会において協議を開始し、地域ごとの条件や考え方を踏まえつつ、予算の検討や運行ルートのシミュレーションなどを実施してまいります。

小学校の跡地利用については、今後作成する学校跡地利用計画において、全市的な行政需要を踏まえた活用等の考え方や、施設保有量の最適化等を全庁的に協議し、本市の将来像を見据えて、あらゆる可能性を検討してまいります。

原子力災害に備えた広域避難計画について

問 水戸市との協議について。

市民生活部長 原子力災害に備えた広域避難計画策定の進捗状況について、適時連絡を取っておりますが、現在、広域避難計画策定に向けて調整中のことで、具体的協議には至っていません。

問 本市の受入れ可能な避難所の数と収容人数について。

市民生活部長 本市では、26施設の指定避難所があり、収容人員は6,672人となります。

問 駐車場の確保について。

市民生活部長 避難手段について具体的な協議がされてはおりませんが、多くの市民が自家用車での避難を想定した場合、指定避難所になっている公共施設や学校の収容台数を考慮しますと、足りないことが予想されるため、指定避難所以外の場所を確保することも考え、

調整してまいります。

問 実効性のある避難計画策定について。

市民生活部長 広域避難の受入れに際し、避難元であります水戸市の準備が整い次第、県が策定した原子力災害に備えた茨城県広域避難計画に基づき、水戸市広域避難計画策定について具体的な協議を再開したいと考えております。



自治会の望ましい姿は 住む人々が生き生きと暮らせること



あいざわ ひさお
澤久男 議員

自治会の存続について

問 自治協力員さんのように、地域に貢献してくれるボランティア精神のある方に対しては、行政としてきちんと報酬を支払う仕組みを作り、自治会としては、嫌な役割を押しつけたり、個人の生活に必要以上の干渉をしないというような緩やかな集落共同体を構築していくことが大事だと思います。行政として自治会の望ましい姿をどう描いているのか、将来像について伺います。

総務部長

今後の自治会の将来像については、住民自治の基礎である自治会が主体となり、地域の親睦、防災・防犯、環境衛生、福祉といった多岐にわたる活動が活発に行われ、そこに住む人々が生き生きと暮らせることが理想的な社会であると考えております。

結城市高齢者プラン21について

問 概要について伺います。

保健福祉部長

高齢者プラン21は、高齢者施策を総合的に推進するため、老人福祉法に基づく高齢者福祉計画と介護保険法に基づく介護保険事業計画を一体的に策定したものであり、高齢者を支えるとともに、介護保険の円滑な実施を確保するた

めの計画です。

平成12年度に第1期計画がスタートし、15年度の第2期計画から、21世紀において高齢化が進展しても高齢者が充実した生活が送れるような社会を目指すという意味を込めて、名称を結城市高齢者プラン21としました。

問 高齢者同士の助け合いを、有償ボランティアという形で進めていた

だき、そこに行政が支援するというのはどうでしょうか。

高齢化率の高まる社会

で、どのように支え合って生きていくのか、第9期結城市高齢者プラン21の今後の展望について、市長に伺います。

市長

少子超高齢社会における地域の様々な課題や問題に市民一丸となつて対応していく必要があると考えております。

そのためには、制度・分野ごとの縦割りや支え手、受け手という関係を超えて、地域の方々と多様な主体が我が事として参画し、世代や分野を超え、人と人、人と地域、

地域と地域が結びつき、市民一人一人の暮らしと生きがい、地域を共に紡ぐ、地域共生社会の実現が重要であると考えております。

今後、結城市高齢者プラン21の基本理念であります「心と心で織りなすふれあいのまち結城」に基づき、地域の方々がお互いに支え合うことで、生き生きと暮らしていくための取組を一層推進してまいります。



文教ゾーンと学校統合について

魅力あるゾーニングを検討していく

文教ゾーンと学校統合について

問 再統合について。

教育部長 再統合については、結城市学校適正配置等検討委員会においては、本市の10年後の小学校のあり方について、適正規模・適正配置の検討を進めていただきました。

学校再編の考え方としては、中学校区を1つの単位として捉え、学区内の生徒数の平準化を図るための学区の見直しや、

学区内の小学校の適正規模を図るための学校再編など、幾つかの方向性が示されたものの、今回の

結城南中学校区新設校設置に係る再統合については検討しておりません。

問 統合による教育レベルの向上について。

教育部長 5つの小学校が1つになることで、適正規模の児童が集い、多様な考え方や能力に触れながら自分自身を磨く機会が生まれるものと考えております。

さらに、各小学校が大切に育ててきた特色のある取組や地域のよさを再認識し、互いに理解し、

認め合いながら地域への愛着と誇りを持つ心を育むことができるものと考えております。

加えて、学級担任以外多くの教員が関わることで児童生徒を多面的に捉えることができ、一人一人の可能性や能力を伸ばす教育につながります。生活面では、行事や総合的な学習の時間等における児童生徒の異学年交流や、クラス替え等を通

して他者と関わる機会が増える中で、社会に積極的に関わるための自己肯定感や社会性の基礎となる自己有用感が高まり、

社会性を育むことができると考えられます。

私は50年前に新設統合されました結城南中学校の第1回入学生として、入学させていただきました。何の取り柄もない小学生が、優れた才能を持つ友達や素晴らしい先生方と出会って、もっと違った景色が見てみたいと思うようになりました。学校統合は、十分子供

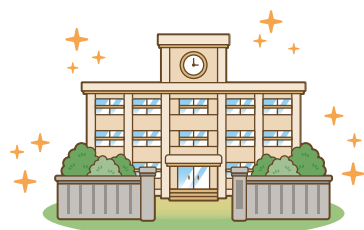
たちの意欲、やる気の向上、そして教育レベルの向上につながるものと考えております。

問 文教ゾーンについて。

市長 文教ゾーンにおいては、幼児教育を含めた教育環境を整備し、特色のある教育を総合的かつ包括的に実施することで、

学力の向上や一人一人の個性を伸ばすことのできる教育の提供に努めてまいりたいと考えております。

その上で、市内外の子



育て世代を含む幅広い世代から支持され、将来的には、結城市で教育を受けさせたいと考えていただけのように、結城ファンを増やし、移住・定住の促進にもつながるような魅力あるゾーニングを検討してまいりたいと考えております。

うえの ゆたか
上野 豊 議員

幼児教育を含めた
教育環境整備を

デジタル田園都市国家構想について

問 デジタル田園都市国家構想で目指すのは、デジタル技術を活用して、全国どこでも誰でも便利で快適に暮らせる社会であり、総合戦略5年計画で「地方に仕事をつくる」「人の流れをつくる」「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」「魅力的な地域をつくる」の4分野の課題解決に取り組み、地方創生を加速させるというのが目的であります。デジタル田園都市国家構

想に対する市の考えについて伺います。

企画財務部長 デジタル田園都市国家構想の意義、目的及び取組方針を勘案しますと、国や県と歩調を合わせるとともに、本市の実情や課題を捉えた上で、デジタル技術の活用により、その個性を生かしながら、自主的かつ主体的に構想の実現に向け、今後取り組んでいく必要があると認識しております。

問 デジタル田園都市国

家構想を進めていく中で、デジタル基盤やシステムの導入、デジタル人材の育成などが必要となりますが、進捗状況について伺います。

企画財務部長 デジタル基盤やシステムの導入については、令和3年度に結城市DX推進方針を決定し、デジタル技術の活用による、市民の利便性と行政の生産性の向上を図ることといたしました。この方針に基づき、令和3年度に音声データを文字データにするAI

議事録を、4年度にはAI-OCR、RPAを、それぞれ導入しております。

人材の育成については、デジタル化を進める上で基本となるセキュリティ対策として、毎年、新規採用職員及び新任課長を対象とした情報セキュリティ研修を実施するとともに、全職員を対象としたセルフチェックシートによる自己点検を実施しております。

令和4年度からは、全職員を対象としたデジタルリテラシー習得研修を

開始しました。

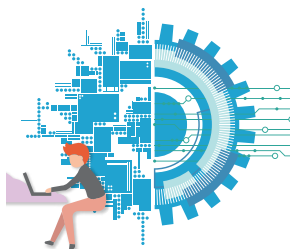
このほか、自治体DXに関する職員研修を実施し、DXに関する機運醸成を図っているところでございます。

問 今後のデジタル田園都市国家構想について、市長の所見を伺います。

市長 地方における不安・不便・不利といった3つの「不」を解消するためにはデジタル技術の活用は大変効果的であり、デジタルの実装は地域の課題の解消に向けた大き

な一助となると考えております。

そこで、国が掲げる本構想の実現を図るため、その趣旨や目的ののっとり、積極的にデジタル変革に取り組むことで、地域活性化と持続可能なまちづくりを、官民が一体となり、協働で推進することを実現してまいりたいと考えております。



デジタル田園都市国家構想について 積極的にデジタル変革に取り組む



おおさと かつとも
大里克友 議員

生活習慣病の進行は自覚症状がない

早期の対応を心掛け事業を展開する



くろかわ みつお
黒川充夫 議員

コロナ禍3年一ようやく
見えた正常化への転機

危機管理型水位計について

問 危機管理型水位計の情報を市民に広く周知を。

市民生活部長 24時間観測のデータや河川監視カメラの画像がホームページにおいて視覚的に閲覧できるようにしており、危機管理型水位計の情報は、逃げ遅れゼロを実現するうえで有効なアイテムになることから、令和5年4月に予定しておりますウェブ版ハザードマップの公開に合わせ

て市ホームページに、茨城県河川情報システムのリンクを貼り、多くの市民の皆様は危機管理型水位計の活用を周知してまいります。

は、安全・安心に暮らせる住環境の整備が重要な施策の一つであると考えております。

高齢者、障害者、子育て世帯など、多様な世帯、そして、誰もが安心して健康に暮らすことができる住環境を実現するために、住宅の確保に配慮が必要な方を支援する「住宅セーフティネット制度」を活用し、住み続けたいにつなげる制度活用を図れるよう、関係機関との連携を密に対応してまいります。

居住支援の強化について

問 住宅セーフティネット制度の活用について。

市長 本市では、今後急速に人口減少、少子高齢化が進むことが予測されており、今後も本市の活力を維持していくために

医療費削減への取組について

問 リスク予測ツールの活用が可能かについて。

保健福祉部長 糖尿病リスク予測ツールは、生活習慣や健診結果などの項目を入力することで、自分の健康状態を手軽に知ることができる有効なツールであると認識しております。発症の確率のほか、生活習慣について信号の色で表示されて、とても見やすく活用しやすいことから、今後、市民

への周知を行ってまいります。

デフリンピック支援と共生社会の推進について

問 応援事業（ホストタウン）への参加について。

市長 本市では、東京2020オリンピック・パラリンピック大会において、カザフスタン共和国の空手競技のホストタウンとして選手を受け入れ、現在も交流を行っている経緯もございます。

また、聴覚障害者の国際スポーツ大会である「デフリンピック」が2025年に東京で開催されることを契機に、大会のPRに努めるとともに、本市出身者や本市にゆかりのある選手が出る際には、積極的に支援してまいります。



委員会活動レポート

市の仕事は様々な分野にわたっていることから、総務、産業・建設、教育・福祉の3つの常任委員会を設置し、それぞれ分担しながら、専門的な審査と調査を行っています。

●総務委員会

本分科会へ付託された予算の議案3件、本委員会に付託された議案4件、諮問3件を審査しました。審査の結果、全て原案のとおり可決されました。

主な質疑

■議案第10号 令和5年度結城市一般会計予算

問 財産管理事務経費の元市役所本庁舎解体実施設計委託料827万7千円について、解体の対象を伺いたい。

答 対象は、第1・2庁舎、倉庫としていた第3庁舎、駐輪場や花壇、ポンプ室等、庁舎があった道路の南側部分となります。西庁舎は、結城出張所としての機能が残っているため、今回は対象外となります。



●産業・建設委員会

本分科会へ付託された予算の議案6件、本委員会に付託された議案2件を審査しました。審査の結果、全て原案のとおり可決されました。

主な質疑

■議案第10号 令和5年度結城市一般会計予算

問 主食用米過剰作付け解消奨励金1,700万円の内容について伺いたい。

答 需要に応じた米の生産、需要のある作物の産地化及び担い手農業者の育成を図るため、新規需要米等の生産数量目標を超過した面積に対し交付するものです。

一般農業者に対しては、10アール当たり1万円を上限として、認定農業者に対しては、10アール当たり2万円を上限として交付するため、予算を計上しております。



●教育・福祉委員会

本分科会へ付託された予算の議案2件、本委員会に付託された議案4件を審査しました。審査の結果、全て原案のとおり可決されました。

主な質疑

■議案第10号 令和5年度結城市一般会計予算

問 子育て世帯すこやか祝金支給事業の祝金支給の手順について伺いたい。

答 まず、該当者には、市から、誕生月にバースデーカードと申請書を郵送させていただきます。

申請書のご記入、返送をしていただきましたら、翌月にご希望の口座にお支払いという流れで支給をさせていただきますと思っています。



永年勤続議員表彰

令和5年2月28日、結城市議会褒章内規による勤続15年の永年勤続議員として、稲葉里子議員、早瀬悦弘議員、黒川充夫議員、立川博敏議員に、勤続10年の永年勤続議員として、大橋康則議員に、その功績を称えられ、感謝状が授与されました。



黒川 充夫
議員



早瀬 悦弘
議員



稲葉 里子
議員



大橋 康則
議員



立川 博敏
議員



朗読

ゆうき市議会だよりは、目の不自由な方向けに、ボランティアグループ「ボイスフレンド」の皆さんのご協力をいただき、毎号、CD版の発行や対面朗読を行っています。

ご希望をされる方につきましては、社会福祉協議会（☎33・0225）までお問い合わせください。

行政視察来訪

―本市の行政運営について 視察に来訪されました―

◆1月26日

宮城県名取市議会

公明名取

3名

宮城県大和町議会

1名

◎SCBふるさと応援団古民家・空き店舗

再生活用事業補助金について

◎空家等解体補助金について

本会議の 生中継をしています。

結城市議会では、本会議中の映像を、ケーブルテレビとインターネットで生中継しています。次回、令和5年第2回定例会の放送は、15日、16日、19日、27日の計4回を予定しています。

※結城市議会ホームページにインターネット中継専用ページへのリンクがあります。

※ケーブルテレビチャンネルは、地上デジタル「112」



編集後記

新型コロナウイルスの発生から3年余りが経過しました。議会活動も大きな制限を受けておりましたが、新型コロナウイルスの感染症法上の分類を、5月8日から「5類」に引き下げることが決定しました。感染対策も緩和され、マスクなしの日常がスタートしようとしています。コロナ禍においても、明るいニュースがありました。ワールドベースボールクラシックでの日本代表選手の活躍には目を見張るものがあり、日本中が熱く盛り上がりました。大会による経済効果も予想を大きく上回るものだったようです。

令和5年第1回定例会では、4年度の補正予算、5年度の当初予算等を、市民の目線で公平公正に審議しました。また、定例会初日には、結城紬の更なる振興を推進するため、議員全員で紬の着物に身に着け、本会議に臨む「紬議会」を開催しました。

結城市議会も市民の皆さまと共に、すべての世代に優しいまちづくりに励んでまいります。

(情報推進委員)

表紙によせて

表紙は定例会初日の2月28日に行われた紬議会の様子です。

結城紬の更なる振興を推進することを目的に紬議会を開催し、議員全員が紬の着物を身に着けて、気持ちを引き締め、議会に臨みました。

